

北陸民放クラブだより

石川

視覚障害者のためのコンサート

福田 政博(MRO)

昨年12月11日、金沢市の石川県視覚障害者情報文化センター1階の第一会議室は、視覚障害者が一時間あまり前から集まり、熱気に溢れていた。

今回、初めての試みのレコードコンサートは、渡邊理事長持参のプレーヤーとアンプ、スピーカーをセットし、午後1時から始めた。

私にとつては、およそ半世紀前、北国講堂での公開コンサート以来のこと。持参した50枚のEPレコードの中から、洋楽、歌謡曲を含め、曲や歌手のエピソードを交えての1時間だった。



熱心に耳を傾ける人々

目の不自由な方々の音に対する感覚は、健常者の数倍も鋭く、石川県出身の元横綱・輪島閔の『望郷賦』には大きな拍手が沸いた。

今回は歌謡曲中心のリクエスト曲でとの要望もあり、今年中に何回かのコンサートを考えている。

福井

63歳の歌手デビュー

『乳がん乗り越え』

小川 忍(福井テレビ)

福井テレビで昭和46年から3年ほどアナウンサーをしていた地元出身の柴田明美さんがいます。

彼女は、退職後名古屋に移り結婚し、ごく一般的な生活を送っていました。ところが、平成元年に

ご主人が大病を患い、リハビリのために自然豊かな大分県杵築市に移り住みました。ご主人の体調は回復しましたが、9年前、明美さんに乳がん宣告。以後は治療との戦いの日々でした。落胆している時、自分を励ましてくれるのは好きだった歌だと思い、カラオケ喫茶へ。そこである作曲家と出会い『黄昏のラブストーリー』を作曲

してもらい、昨年CDデビュー。63歳の歌手誕生でした。



彼女が1月に福井に里帰りした際「福井でも応援しよう」と計画。

民放クラブ員の協力も得て県内の全てのラジオ・テレビ、ケーブルテレビにも出演、新聞社、楽器店、カラオケ喫茶なども回り歌唱とトークを披露。

現在、乳がん撲滅のための「ピンクリボンキャンペーン」で彼女にも一役買ってもらい、闘病に苦しむ多くの患者を励まそうと全国展開のイベントも計画中です。

富山

元気に育つ寄せ植えづくり

島井 碩哉(BBT)

「園芸部会」は、北陸民放クラブ富山のスタートと同時発足した。草花が美しく映える春と秋、プランターに寄せ植えをしている。初期には、山村へ出かけて蕎麦打ちが趣味の会員に打ち方を披露してもらったり、山菜採りをセッ

トしたりと、自然を謳歌していたようだが、いまはシンプルを心掛け寄せ植えに特化している。

直近・昨秋は11月4日、富山市近郊の園芸店に男女19人が参集、孫みたいなイケメン講師にポイントを教わりながらのスタート。

イタリア製の直径30センチほどの園芸鉢に鉢底石を敷き、化成肥料を混ぜた培養土を入れ、店の棚から各自が選んだ5種類10株あまりを植え込んだ。ちなみにこの日は、センターにドラセナの仲間を置き、周りをデンマーク産のヒメバラやビオラで取り囲む。

苗をバランスよく配置して小一時間で全員の作品が完成した。



園芸部会 北山ナーセリー

富山は雪国だが、素直に植え付けてさえ置けば、冬を跨いで、3〜4か月、うまくいけば半年はきれいな花を楽しむことができる。昨秋の作品は、この春それぞれのお宅で可憐な花を咲かせたに違いない。